

## 【資料 1】

### 主な論点

#### 1 雇用と年金の接続の意義について

- ① 本年4月から年金支給開始年齢が引き上げられることに伴い、雇用と年金の接続に関連して、民間ではどのような変化が見られるか。
- ② 高齢職員の職務の在り方や勤務形態はどうあるべきか。また、それに応じた処遇の在り方はどうあるべきか。

#### 2 高齢社会における国家公務員の人事管理について

- ① 組織の将来を担う若手職員の力と、意欲と能力のある高齢職員の力がバランスよく発揮されるために何が必要か。
- ② 高齢職員も含めた職員全体のモチベーションの維持向上と意欲と能力のある人材の最大限の活用の観点から、能力・実績に基づく人事管理の更なる徹底が必要ではないか。
- ③ 雇用と年金の接続に際し、霞が関の幹部職員の固定化を防ぐために、役職定年制のような一定のルールが必要ではないか。
- ④ 高齢職員が培ってきた多様な専門的知識や経験を公務内外で活用するために、中高齢職員の将来のキャリアプランに対して、適切な支援が必要ではないか。